

平成25年度職員提案の流れ

提案の募集

- ・6月3日～6月28日の期間で募集
- ・47件(フリー部門:41件、テーマ部門6件)の提案の応募

一次選考

- ・7月上旬において、事務局(行政管理課)による書類選考を実施
- ・47件⇒20件に選抜

二次選考

- ・7月下旬～8月上旬において、提案審査会委員5名による書類選考を実施
- ・20件⇒6件に選抜

※職員提案審査会委員は市長、両副市長、企画部長、総務部長

最終選考

- ・8月14日において、提案審査会委員5名によるプレゼンテーション選考を実施
- ・二次選考で選抜された6件に対し、**市長賞・1級・2級・3級・努力賞**の上位賞を決定
- ・二次選考で最終選考へ選抜されなかった提案10件を**奨励賞**に決定

表彰式

- ・9月2日において、上位賞受賞者へ市長より表彰
- ・表彰後、市長と上位賞受賞者の懇談を実施

各賞受賞提案一覧

《上位賞》

部門	件名	提案概要	賞
フリー	小田原市の医療費助成事業の適正化について	・小田原市の実施している医療費助成事業(小児医療費助成事業・ひとり親家庭等医療費助成事業・重度障がい者医療費助成事業)について、医療機関から市へ請求される医療助成費の審査及び支払事務を、「社会保険診療報酬支払基金」という専門機関に委託することで、医療費助成事業を適正化し扶助費の削減につなげると同時に、事務の効率化、市民サービスの向上を実現する。	市長賞
フリー	市出先機関及びまちあるき研修の実施(新採用職員)	・新採用職員を対象に、市出先機関及び小田原城を中心とした歴史・文化・産業等の地域資源を巡る、実地研修を開催する。	1級
フリー	誰でもコンシェルジュ	・庁舎内で市民の方が担当課がわからなく迷っているときに、すばやく適切に案内ができるように、市役所(本庁舎)における市民向けサービス(市の窓口サービスや市民も利用できるコピー機や喫煙所の場所など)の担当課および場所が一目瞭然でわかるホームページサイトを作成し、庁内ネットワークのトップページにリンクを貼っておく。	2級
フリー	現業職員の他課への派遣について	・現在は所管に配置されている現業職員を他課に派遣することで、需用費及び委託料の削減を図る	3級
フリー	小田原城天守閣夜間ツアーについて	・小田原城天守閣からの昼間の景色は絶景であることから、夜景も素晴らしいものであることが容易に想像できる。そこで、ヒルトン等と協力し、100万石の夜景を楽しんで頂くツアーを実施する。	努力賞
フリー	小田原城天守閣売店の活性化について	・小田原城天守閣最上階の売店は、年間40万人もの観光客が訪れるにも関わらず、特筆すべき土産物がなく、繁盛しているとは言えない。大きな機会損失である。そのため、鎧塚氏に依頼し、「小田原城ロール」の開発、販売をする。	努力賞

《奨励賞》

部門	件名	提案概要	賞
フリー	係長昇任試験の導入について	・係長昇任試験を導入することで、意欲のある職員に出世していただく制度とする。	奨励賞
フリー	イントラネット上での職員提案の公開討議化	・イントラネット上の電子会議室で、随時職員提案を提出できるようにする。 ・その際に、提案という形でなくても、「こうしたらどうか」という趣旨のトピックスにより、意見を募る事ができるようにする。	奨励賞
テーマ	正面玄関前の飲食販売店誘致による歳入増加計画	・小田原市役所正面玄関前スペースに平日11:30～14:00まで飲食店舗(4件程度)を誘致する賃貸借契約(スペースごとのプロポーザルを実施)を結び、年間200万円の賃借料を得る。単年度契約とし、毎年秋に次年度の店舗種類の希望を募り、次年度の契約に反映する。	奨励賞
フリー	湘南ベルマーレホームタウンの認知向上	・小田原市のサッカー関連施設等へチームフラッグの掲示 ・ポスター等広報物のマスコットキャラクターとして選手を起用する	奨励賞
フリー	湘南ベルマーレ小田原ホームタウンデーの横断的活用	・サッカーJリーグの湘南ベルマーレで年に1度実施される小田原ホームタウンデーを市のプロモーションイベントとして有効活用する。 ・小田原ホームタウンデーは、8,000人から10,000人が訪れる格好のPRする場である(昨年度10,918人、今年度8,248人(雨天))ので、訪れる多くの方にPRができる。	奨励賞
テーマ	歴史ブームにのっかって	・歴史ブームから発掘調査の説明会や出土品の展示に多くの歴史マニアが集まっている。 ・これらのマニアに入場料や出版物の販売を行い収入を得る。	奨励賞
フリー	学生政策提案フォーラムの開催	・市内及び県内外の大学生が、小田原市の政策について検討・議論することで、地域社会への愛着と関心を深め、市政の発展に寄与することを目的とした政策提案フォーラムを開催する。	奨励賞
テーマ	庁内PCのポップアップ広告	・小田原市で稼働する端末約1,500台を対象として、ログイン/ログオフ時にポップアップ広告を掲載し、その掲載料を歳入とする。1ヵ月契約で2枠/月、1枠2万円以上/月、年間で48万円の歳入を見込む。(滋賀県、兵庫県、鳥取県、佐賀県等で実施中)	奨励賞
フリー	小田原市役所7階の食堂に「小田原どん」の販売	・小田原市内の飲食店29店舗で提供されている「小田原どん」を小田原市役所7階の食堂に数量限定で提供。 ・市の顔である小田原市役所の食堂で提供し、市外県外にPRする前にまず市民の方々に味わってもらい、楽しんでもらう。	奨励賞
フリー	余熱供給システムと余熱利用施設の検討	・環境事業センターの焼却炉から排出される熱エネルギーを有効活用する。 ・余熱供給施設を各所管の進める事業に活用し、地域の活性化を図るとともに各事業の見直しや早期完成に役立てる。 ・余熱利用施設の建設により市民の健康増進、コミュニケーションの場を提供することや、地元の農業振興等、地域環境の向上を図る。 ・近隣の県立公園やわんぱくランドの来場者との相乗効果により対流効果も期待できる。	奨励賞